

新年号



介護あんしん 相談員だより

第20号 平成28年1月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

新年 明けましておめでとうございます。
去年は、介護あんしん相談員の受け入れに
ご理解いただきまして、ありがとうございました。
今年もよろしくお願いいたします。

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見て気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかをご紹介します
(平成27年10月・11月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：ピンク色の毛糸で編み物をされていましたが、ご自分で持ってこられたのでしょうか？

施設：職員が自宅にあったものを持ってきて編んでもらっているようです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者さまは、とても帰宅願望が強く、不穏状態になる事が多い方だったそうです。そこで何か安心して頂ける事はないかと考え、ご本人から昔は編み物をされていたことを聞き、「僕のマフラーを編んでね。」と声をかけると、「ピンク色でいいとね？」と編み物を始められ、とても落ち着かれる時間が増えたそうです。

このように、スタッフが利用者さまとたくさんの関わりを持ち、これまで生活してきた情報を得る事で、今まで気がつかなかったヒントをもらえるのではないのでしょうか。利用者さまが日々穏やかに過ごしてもらえれば、家族もスタッフも穏やかでいられるのではないのでしょうか。今後ともよろしくお願いいたします。

相談員：アームウォーマーやレッグウォーマーをしているご利用者が多くないましたね。

施設：平均介護度も上がり、皮膚も弱い方が増え、表皮剥離防止のためにつけています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



冬は特に空気も乾燥し、皮膚トラブルも起こしやすい季節でその保護のために利用されているそうです。また、ウォーマーの色が白や明るい色が多いのは、もし剥離などで出血などした場合に早期に発見しやすいためだそうです。

身体は暖かくなり、皆さんでカラフルなウォーマーをつけることで、心も温かくなりますね。

また、コミュニケーションを取るきっかけとして、手や体にボディークリームなど保湿剤を利用することで、コミュニケーションの幅も広がるのではないのでしょうか。



～利用者さんの声より～

利用者：「施設長はじめ、男が増えて良かった。」

施設：「男が増えて良かった。」というお話は初めて聞きました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者さまは、新たに男性の職員や利用者さまが入ってこられたことにより、以前と比べたら相談員にも積極的にお声をかけて頂き、随分明るくなられていらっしゃるそうです。

元々積極的に他の利用者さまと会話をされるわけでは無かったそうですが、今回男性が増え、同じ空間に男性がいらっしゃるということで安心感を持たれ、心情を打ち明けて頂けたようです。

これからは男性の利用者も増えていくのではないのでしょうか。やはり、男性と女性では、趣味や興味も違いますので、同じ接し方ではなく、その方に合った役割や目的を持ってもらえるような対応を施設では考えていただけたらと思います。

利用者さまおひとりおひとりへの、対応をしていくのは大変だと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



わたしたち、介護あんしん相談員は一人一人の小さな思いを、お伝えします。